ご質問等への回答

1 ワークショップについて

- 資料に優先的取り組みとか施設の適正配置といった言葉が出てくるが、それは富山市にとってのことであるのか、地域住民にとってのことであるのか、誰にとってのものなのか、主語を明確にしてほしい。地域住民のためのまちづくりを考えていきたい。

【回答】

本ワークショップでは、公共施設の総量削減を前提としつつ、山田地域の施設について、廃止や複合化などの再編の方向性等について、検討していただいているものです。その際には、地域の特性や実情を踏まえ、山田地域の皆様にとって施設の適正な配置に努める必要があるものと考えています。

また、富山市が一方的に方針をお示しするのではなく、本ワークショップ等を通じていただくご意見をもとに、地域の皆様にとって有益となるまちづくりの方向性を定めていきたいと考えています。

- 完全にテーマをしぼった方がよいのではないか。(ふりかえりシートより)
- もっと細部に入っても良いのでは。(ふりかえりシートより)

【回答】

本市では公共施設の再編を進めるにあたっては、全市的に用途別の視点だけをもって検討するのではなく、地域の実情を考慮した視点も踏まえ、検討することとしております。こうしたことから、本ワークショップにおいては、山田地域にある施設のうち、全市民を対象とした施設を除いた、主に地域住民を対象としている全ての施設の方向性について、検討していただくこととしているものです。

ただし、第3回のワークショップでは、短期的に具体的な再編を実行する施設を対象を絞って、個別施設の方向性をご検討いただくことを予定しています。

- 会場の音響効果を改善してください！！(ふりかえりシートより)
- 今一、音響が悪い様に思います。聞き取りにくく理解が大変です。(ふりかえりシートより)
- マイクの音量とエコーをひかえめにしてほしいです。声がこもって聞こえるので、早口でお話されると聞きとりづらいです。半分くらいしか聞きとれませんでした…。耳がいたくなりました。最初の「事務局から説明」のときだけでした。発表は聞きやすかったです。(ふりかえりシートより)

【回答】

音響についてのご指摘ありがとうございます。次回以降の開催では、説明時の音質や音量に十分配慮しながら対処してまいります。

新型コロナウイルスの影響下で様々なご不便をおかけしておりますが、少しでも快適な条件のもとで実施できるよう努めてまいります。

- その他、各家庭に配布されている洪水ハザードマップに山田地域が記載されていません…。山田も富山市なので、地図にのせてほしいです。(ふりかえりシートより)

【回答】

洪水ハザードマップは、国及び富山県が指定する洪水浸水想定区域を基に富山市が作成しています。この洪水浸水想定区域は、河川を管理する国及び県が作成の対象となる河川とその区間を定めて指定していますが、県が管理する山田川では、県が定めた区間から山田地域が外れており、洪水浸水想定区域も山田地域にかからないことから、山田地域の洪水ハザードマップは作成しておりません。

今後、洪水浸水想定区域の見直しなどにより、山田地域に洪水浸水想定区域が指定された際には、速やかに山田地域を含んだ洪水ハザードマップを作成いたします。